

落ち着いたある明瞭で聴きやすい音 くつろぐ時間に使いたい 音質重視のサウンドバー

仕事が終わりに帰宅したら、心地よいリラックスタイムを楽しみたい——。
そう願う皆さんにお薦めしたいのが、VGP2023 SUMMERで金賞を受賞したサウンドバー「SIGNA S4」です。
POLK AUDIOらしい明瞭で落ち着いたあるサウンドが、くつろぎの時間によくマッチします。



機能性は価格以上。音に確かな個性を持つ

VGP審査員 野村ケンジ

迫力満点の重低音が魅力の映画はもちろん、普段観るテレビ放送や音楽を心地よい音色でリラックスして楽しめる。そんな絶妙なサウンドを持つサウンドバーがあります。それがPOLK AUDIO (ポークオーディオ)の「SIGNA S4」です。

そもそもサウンドバーは、テレビと組み合わせる人気の高いシステムプラン。そのためバーチャルサラウンド技術など、サラウンド再生を磨き上げる方向に進化を続け、いまではドルビーアトモスなどのイマージブサウンドの再生もミドルクラス以上の製品ではごく一般的になっています。このSIGNA S4も、イネーブルドスピーカーを搭載した3.1.2ch構成によってドルビーアトモスに対応。広がり感のあるサウンドが楽しめます。また、eARCにも対応しているので、動画配信サービスのサラウンド作品も臨場感溢れる音で楽しむこともできます。

一方で、サウンドバーを自宅のオーディオシステムとして活用し、音楽リスニングに利用する人も多いです。そうした方の選ぶポイントは、音のクオリティであり表現力でしょう。その点SIGNA S4は、ポークオーディオならではのサウンドポリシーを持ち合わせています。具体的には彼らが「エフォートレス・サウンド」と表現する、ポークの熱気や演奏の臨場感をしっかりと伝えつつ、緊張感を強くないリラックスして楽しめる音を、サウンドバーでも享受できます。

実際に聴いてみると、わずかな時間でその魅力を把握できました。「Movie」モードで映画を観ると、まずはファントムではないセンタースピーカーならではの力強いセリフが印象的。さらに、量よりも質を重視

している印象のあるサブウーファーの恩恵か、効果音はパワフルですが、その力強さがセリフや歌声には影響せず、落ち着いたある聴き心地のよいボーカル再生が魅力的です。この迫力と聴き取りやすさの両立は、SIGNA S4ならではのものです。さらにSIGNA S4には「Voice Adjust」という声をより明瞭にして聞こえやすくするモードがありますが、こちらを使わなくても十分に声が聴きやすく、響きも心地よいです。邦画洋画問わずドラマをよく観る人には、もってこいのサウンドキャラクターといえるでしょう。

また、音楽ライブやBluetooth接続による音楽再生時には、「Music」モードも多いに役立ってくれます。サウンドバーのミュージックモードには様々なタイプがありますが、SIGNA S4のそれはより同社の高級パッシブスピーカーの音に近い印象となります。厚みのある自然な音色の中域、量感には豊かですが押し出しすぎない低域、伸びやかさを保ちつつも心地よい高域が違和感なく交わり、一体感のあるサウンドを楽しませてくれるのです。こうした製品ジャンルを横断してもブランドを共通したサウンドキャラクターがあることは、製品への信頼、音づくりの巧みさへの裏付けとなる部分でしょう。VGP 2023 SUMMERで部門金賞を受賞するに至ったのは、単なる音のよさだけでなく、ポークオーディオというブランドの信頼性も加味された結果といえるでしょう。小音量にしても音のキャラクターに大きな差は生まれませんので、毎夜のリラックスタイムなどにも存分に使ってほしい魅力ある製品です。

ここがポイント①

学生でも買えるプライスで「3.1.2」の本格派



天面にイネーブルドスピーカーまで搭載

SIGNA S4はフロント、センター、イネーブルドを一体化したベースピーカーと、ワイヤレス接続する別筐体のサブウーファーを使った3.1.2ch構成の製品です。フロントスピーカーは、25mmトウイーターと120×40mmの楕円形ミッドレンジを組み合わせた本格的な2ウェイ方式。センタースピーカーには25mmのフルレンジを、天面には天井に音を反射させて立体的な音場をつくるのに活用する66mm口径のイネーブルドスピーカーを搭載します。それでいてベースピーカーの高さを60mmに抑えているため、テレビの前に置いてもテレビのリモコンの受光部を遮ることも少ないです。このようにハイエンドモデルに肉薄するスペックを持っていますが、特にイネーブルドスピーカーを搭載して実売5万円以下のモデルはSIGNA S4だけ。このコスパは驚きです。

ここがポイント②

リビングに最適なデザイン、ワイヤレス接続



上質さを演出するファブリックボディ

ベースピーカーの表面は上質な布張りになっており、スピーカーの存在感を主張しません。そのデザインは、インテリアとも馴染みやすく、リビングのおしゃれな雰囲気や損ねませんので、どんな部屋でも安心して設置できます。



サブウーファーは無線で接続する

別筐体のサブウーファーはサウンドバーと無線で接続するため、設置場所を自在に選べます。ちなみにユニットやバスレフポートが背面になく、底面に配置されるので、多少壁の近くに寄せて設置してもブーミーになりにくいです。



金賞

サウンドバータイプTV用オーディオ (4万円以上5万円未満)

サウンドバー

POLK AUDIO
SIGNA S4

¥OPEN

SPEC ●スピーカー構成：3.1.2ch ●スピーカー：フロントLR/25mmトウイーター×2+120×40mmミッドレンジ×2、センター/25mmフルレンジ、イネーブルドLR/66mm×2、サブウーファー/150mmウーファー ●接続端子：HDMI出力×1 (eARC/ARC対応)、光デジタル音声入力×1、ステレオミニ入力×1 ●外形寸法：1046W×60H×95Dmm (サウンドバー部)、200W×328H×280Dmm (サブウーファー) ●質量：2.9kg (サウンドバー部)、4.1kg (サブウーファー)

